

2 0 2 3 年 度  
入 学 試 験 問 題

社 会

注 意

- ・試験時間は30分です。
- ・計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- ・答えは、問題の指示に従って、解答らんの決められた場所に濃く、はっきりと書きなさい。
- ・答えをなおすときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- ・答えはすべて別紙解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。

学校 東洋大学  
法人

東洋大学京北中学校

1 次の地図1を見て、文章a～dを読み、問いに答えなさい。

地図1



a ●印付近の海は干満の差が大きく、沿岸部には日本最大の干潟が広がっている。この海で生産される海苔<sup>のり</sup>は、日本全体の約4割を占める。また、特徴<sup>とくちょう</sup>ある生物が多いことでも知られる。矢印に沿って進むと、世界最大級のカルデラを持つ火山がある。この火山のカルデラ内には4万人余りの人々が生活しており、畑作や畜産が行われ、火山のふもとで①牛が放牧されている。また、火山の近くには温泉地があり、発電所も立地している。火山地帯を通る鉄道は、2016年に発生した地震により線路やトンネル、橋などに大きな被害を受け、現在も復旧工事が進められている。

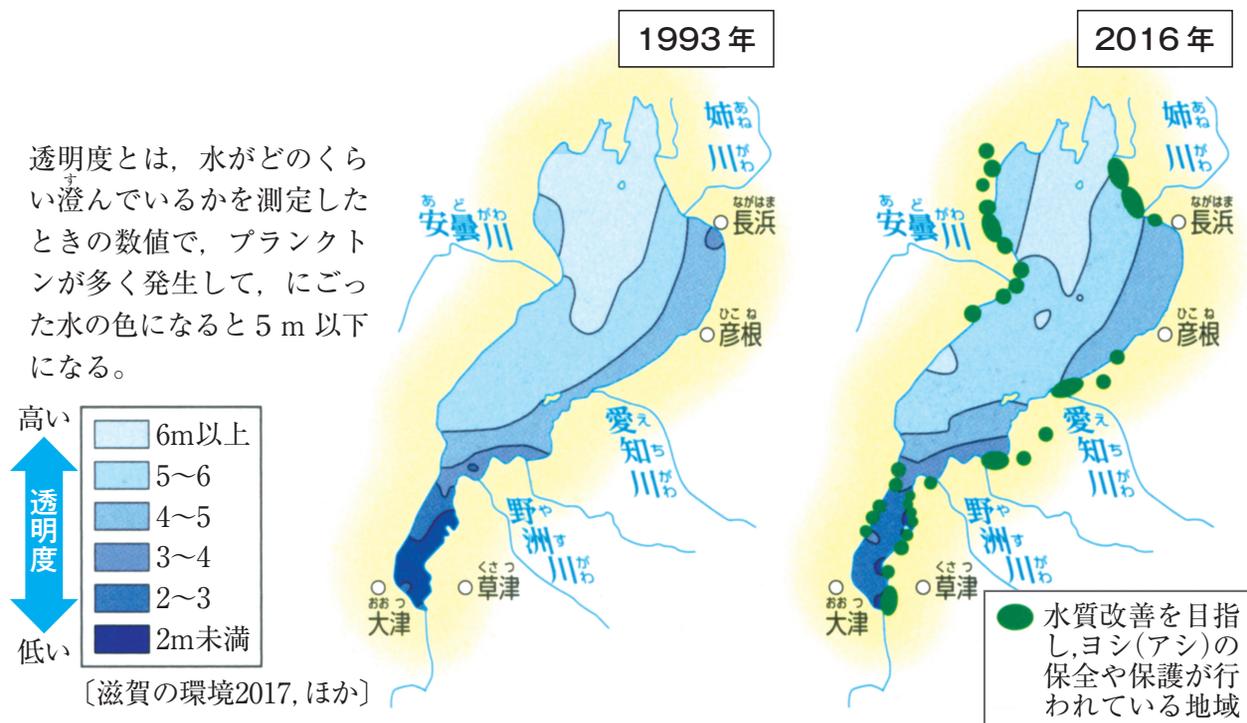
- b ●印付近にある湖は、沿岸流で運ばれた土砂が砂州<sup>さす</sup>をつくり、海から切り離されてできた湖で、汽水湖<sup>きすいこ</sup>としては日本最大の面積である。矢印に沿って進むと、日本一の透明度を誇るカルデラ湖がある。この湖は国立公園内に位置し、夏は霧におおわれることでも知られている。さらに矢印に沿って進むと、台地上に大きな牧場が見られる。明治時代にこの地域を開拓した人たちによって牧畜が始められた後、政府のパイロットファーム計画も行われ、現在では住民の数よりはるかに多くの<sup>②</sup>牛が飼育されている。
- c <sup>③</sup>●印付近の半島は、かつて火山島であったが、北側と南側から沿岸流で運ばれた土砂が砂州をつくり、陸とつながった。その中心部が残され、かつては日本で第2位の面積の湖が存在したが、現在は干拓されて大部分が耕地となっている。矢印に沿って進むと、県境近くに水深が423.4m、日本で最も深い湖がある。湖面はコバルトブルーで美しい。さらに矢印に沿って太平洋岸まで進むと、周辺にはリアス海岸が広がっている。
- d ●印付近はリアス海岸が発達し、国定公園に指定されている。この地域は、原子力発電所が集中していることでも知られている。矢印に沿って進むと、日本最大の貯水量を持つ湖がある。この湖はラムサール条約登録湿地になっている。また、周辺の広い地域の農業・工業・生活用水の供給地のため、周辺市町では、合成洗剤の使用を制限している。さらに矢印に沿って太平洋岸まで進むと、こちら側にもリアス海岸が広がり、波がおだやかな湾内には<sup>④</sup>養殖いかだがたくさん見られる。

- (1) a～dの各文章は、地図1中のA～Eの中から4つについて、●から出発し→の向きに進むときに見られる、自然の様子やおもな産業、人々の生活や文化の特徴などをまとめたものです。各文章は地図1中A～Eのどれをまとめたものか、A～Eの記号で答えなさい。
- (2) 下線部①・②について、それぞれの地域でおもに飼育されている牛の種類組み合わせとして、正しいものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

	①	②
ア	肉牛	乳牛
イ	肉牛	肉牛
ウ	乳牛	肉牛
エ	乳牛	乳牛

- (3) 下線部③では、神の使いが家々を回ってやく払いをしたり、なまけ者をさとしたりする伝統行事が行われています。この神の使いは異形の仮面をつけ、わらなどで作った衣装をまとっています。ユネスコの無形文化遺産に登録されたこの行事を何というか答えなさい。
- (4) 下線部④のいかだで、アコヤガイを利用して養殖しているものは何か答えなさい。
- (5) 次の図1は、地図1中Dの矢印であらわされる線上に存在する湖の透明度の変化についてあらわしています。図1から読み取れる内容として誤っているものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

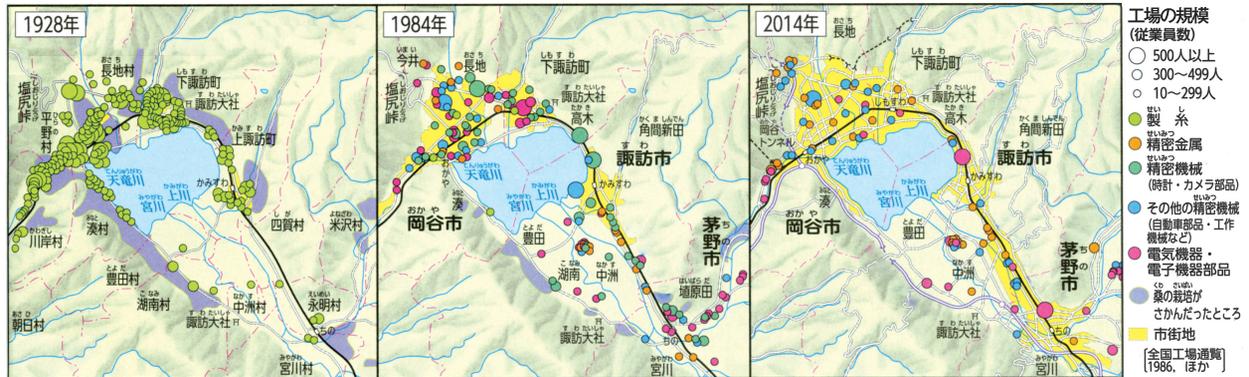
図1 湖の透明度の変化



- ア 2016年には、1993年に比べて透明度6 m以上の地域が減少している。
- イ 1993年と2016年はともに、透明度6 m以上の地域が北部には見られるが、南部には見られない。
- ウ ヨシ(アシ)には水をきれいにする作用があり、2016年には南部や北西部などを中心に保全活動が行われている。
- エ 2016年には、1993年に比べて透明度2 m未満の地域が増加している。

(6) 次の図2は、地図1中A～Eの矢印であらわされる線上に存在する湖周辺の工業地域の様子をあらわしています。図2について、次の問いに答えなさい。

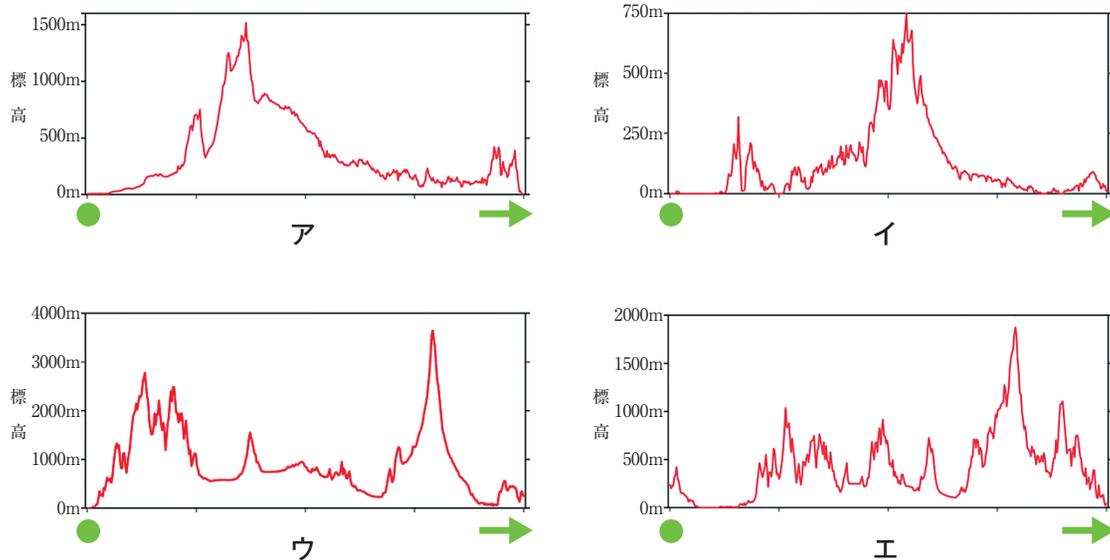
図2 湖周辺の工業地域



問1 この地域は、高速道路の開通により交通の便が良くなりました。工業や農業の発展にも大きな影響を与えてきた、東京とこの地域を結ぶ高速道路の名称を答えなさい。

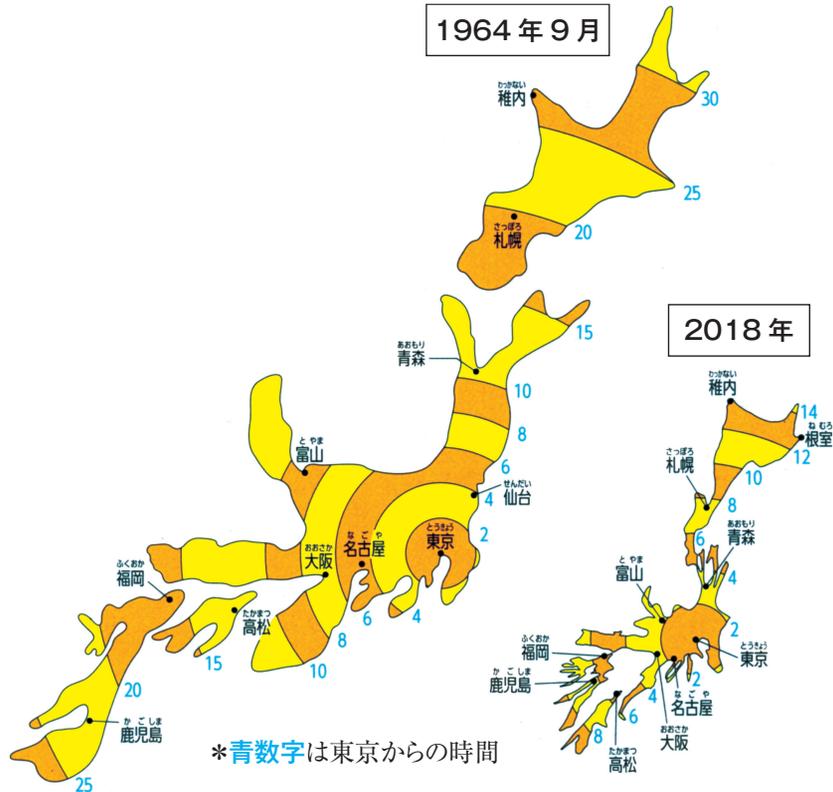
問2 3つの図を比較して、湖周辺の工業地域の工場の種類や規模の移り変わりについて、解答らんの書き出しに合わせて説明しなさい。

(7) 地図1中Cの矢印に沿った地域の標高をあらわすものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。なお、標高と距離のちぢめ方の度合いは、それぞれ異なります。



- (8) 次の図3は、東京と日本国内の各地点の間のへだたりを、距離ではなく所要時間であらわした地図が鉄道の発達によって変化したことを示しています。東京からの時間距離が、特に短縮された理由を答えなさい。

図3 鉄道の発達による時間距離の変化



## 2 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

2022年3月5日に栃木県那須町にある国指定の名勝「殺生石」が割れたことが確認されました。殺生石は付近から火山ガスが噴き出し、生き物が死んでしまうことからそう呼ばれており、**A**の紀行文『おくのほそ道』にもそのことが記されています。殺生石には、鳥羽上皇に愛されていた「玉藻前」が、九尾の狐の化身であることを陰陽師に見破られ、この時代に活躍した上総広常をはじめとする武士たちに追いつめられると石になり、毒気を吐き続けたという伝承があります。

九尾の狐のように、キツネは女性に化けるなどの能力を持つ妖怪や、あるいは神の使いとして描かれることが多いです。商業が発達した江戸時代には、神の使いであるキツネを豊作と商売繁盛の神とする稲荷信仰がさかんになり、キツネの土人形を神棚にまつる風習が見られるようになります。ヨーロッパでもキツネは化ける能力を持つ生き物として描かれますが、日本ではタヌキも人や物に化ける動物として知られています。19世紀前半の随筆『甲子夜話』に記されている群馬県館林市にある茂林寺の「ぶんぶく茶釜」や、佐渡では信仰の対象にもなっていた団三郎狸などはその代表ともいえます。

幕末から明治時代初期につくられ、問答歌の形式をとっているとされる童謡「あんたがたどこさ」では、「せんばやまにはタヌキがおってさ、それを猟師が鉄砲で撃ってさ」とあるように、タヌキは狩猟の対象だったことがわかります。タヌキやキツネは、弓矢や土器が使われ始めた**B**時代から狩猟の対象となっていたことが知られており、生活を支える動物でもありました。筆を選ばずといわれた弘法大師もタヌキの毛でできた筆を使ったと伝えられています。明治時代には、南樺太や千島列島で毛皮をとる目的でキツネが飼育されるようになり、徐々に飼育場が増加しました。1930年代以降になると、毛皮産業も終戦まで戦争による影響を受けました。政府は軍事利用や外貨獲得を目的にタヌキの飼育を奨励する政策を打ち出しましたが、第二次世界大戦で海外の毛皮市場がいくつも閉鎖されたうえ、日本の戦況が悪化したことで毛皮産業は衰退してしまいました。

太平洋戦争からの復興以降を経て住宅や農地が拡張され、都市化に適応できないキツネはその数を減らしました。一方で、タヌキは雑食で、人工物を巣穴とすることができるため、キツネに比べて都市化に適応して生息しています。

昔ばなしに出てくる動物と人間をめぐる話には、人々にとって動物や自然がどのような存在であり、どのように接するべきかということが描かれていると読み取ることもできます。持続可能な社会を築いていく私たちには、動物とのかかわりを歴史の上から考えなおすという視点も必要です。

- (1) **A** にあてはまる人物を、漢字で答えなさい。
- (2) **B** にあてはまることばを、漢字で答えなさい。
- (3) 下線部①について述べた文として正しいものを、**A**～**E**から1つ選び、記号で答えなさい。  
**A** 「上総」とは九州の地名で、蒙古襲来では彼らのような九州の武士が博多湾の石塁を築いた。  
**I** 保元の乱や平治の乱で活躍した武士で、源頼朝による平氏打倒の呼びかけにも応じた。  
**ウ** 藤原道長によって彼らは国司に任命され、地方に広がる藤原氏の荘園を守った。  
**E** 承久の乱では北条政子の呼びかけに応じ、上皇方の軍勢を次々と打ち破った。
- (4) 下線部②の時期に関する次の文 **X**・**Y** について、両方正しければ**A**、両方誤っていれば**I**、**X**のみが正しければ**ウ**、**Y**のみが正しければ**E**と答えなさい。  
**X**：ペリーから開国をせまられ、徳川慶喜は日米和親条約を結び貿易を開始した。  
**Y**：元幕府の役人の大塩平八郎が、飢饉<sup>ききん</sup>に苦しむ人々を救うために立ち上がった。
- (5) 下線部③について、団三郎は飼育して増やすために子タヌキを販売していた人物ではないかと考えられています。佐渡で団三郎がタヌキを増やすことや販売に力を入れていた理由を、以下の資料を参考にしたうえで、江戸時代の佐渡の産業に触れながら説明しなさい。

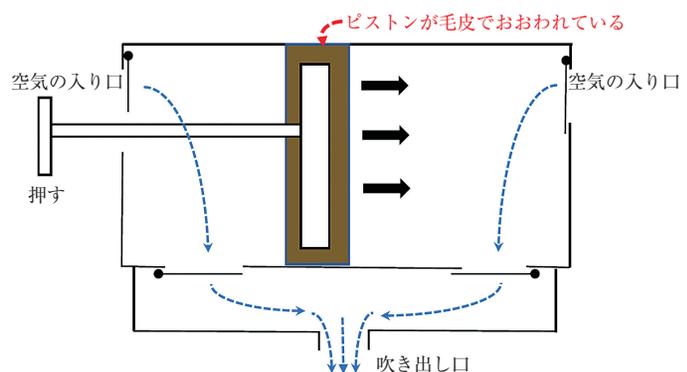
**資料1** 「捕らぬ狸の皮算用<sup>と</sup>」

まだ捕まえてもいないのに、じょうぶなタヌキの皮を売ること考えること。すなわち、手に入るかどうかわからないのに、それをあてにして計画を立てるという意味。

**資料2** 「ふいご」

より高い温度で燃焼させるために空気を送る(右の「ふいご」のしくみを参照)道具のことで、日本では動物の皮が使われた。特に、金属から不純物を取り除く過程や、金属の加工の際に使われる。

※「ふいご」のしくみ(青点線は空気の流れを表す)



- (6) 下線部④について、この童謡は埼玉県川越市でうまれたとする説があります。その説によれば、歌詞の中にある「せんばやま」は明治政府軍が滞在していた川越市の「仙波山」であり、肥後（熊本県）の兵士と川越の人々の交流を歌にしたものだと考えられています。歌詞の中のやり取りは、歴史的には何という戦争のときのことになりますか。その戦争の名称を答えなさい。
- (7) 下線部⑤について、この人物の別の呼び方と活躍した時代を明らかにして、解答らんに合わせてこの人物が行ったことを説明しなさい。
- (8) 下線部⑥について述べた文として正しいものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 南樺太でキツネが飼育されるようになったのは、日露戦争後のことである。
- イ 千島列島でキツネが飼育されるようになったのは、第一次世界大戦後のことである。
- ウ イギリスにかわり、日本は毛皮の生産量・輸出量ともに世界一となった。
- エ アメリカの好景気を受けて、生糸にかわり毛皮が日本のおもな輸出品となった。
- (9) 下線部⑦の時期に起こったできごとア～エを年代の古い順に並べたときに、3番目にあたる記号を答えなさい。
- ア 日中戦争が始まる。                      イ 日本が国際連盟を脱退する。
- ウ 東条英機内閣が成立する。              エ 広島に原爆が投下される。

3 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

2019年10月1日より、①消費税率が引き上げられました。日本において消費税が導入されたのは1989年で、導入当初の税率は3%でした。

消費税は、そのおよそ90%が②社会保障費に使われています。消費税による歳入は税収としてはもっとも多く、2021年度は税収の35.3%を占めていました。少子高齢化が進み、社会保障の役割がさらに増してくる中で、消費税率引き上げやその使いみちについての議論がますます活発になってくることが考えられます。

世界に目を向けると、付加価値税という税金があり、これは、消費税と同じく、物品やサービスの購入時にかかる税金です。EUでは、下限が原則15%と定められており、上限についての規定はありません。たとえば、スウェーデンでは付加価値税の標準税率は25%です。そのかわり、小学校から大学までの学費は原則として無料であるなど、社会保障給付がとても手厚いことで知られています。

商品の購入に際して課税されるのは付加価値税だけではありません。EU加盟国であるデンマークでは、国民の健康を守る目的で、バターや乳製品などに「脂肪税」とよばれる税金が導入されたことがあります。しかし、この税金はあまり効果を上げることができず、1年ほどで廃止されました。デンマーク財務省は、脂肪税廃止の理由として、Aということを挙げています。国民の健康管理を政府が行うのか、国民自身が行うのか、それにとまなう経済への影響をどのように評価するのか、一石を投じた政策であったといえるでしょう。

- (1) 下線部①について、現在、酒類・外食を除く飲食料品にかかる消費税率はいくらか、答えなさい。
- (2) 下線部②に関連して、「老齢・障がいなどによる生活保障を目的とし、一定期間または終身にわたって国や企業などによって支給されるお金」のことを何というか、漢字2字で答えなさい。

- (3) 文中の **A** にあてはまる文としてもっとも適切なものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

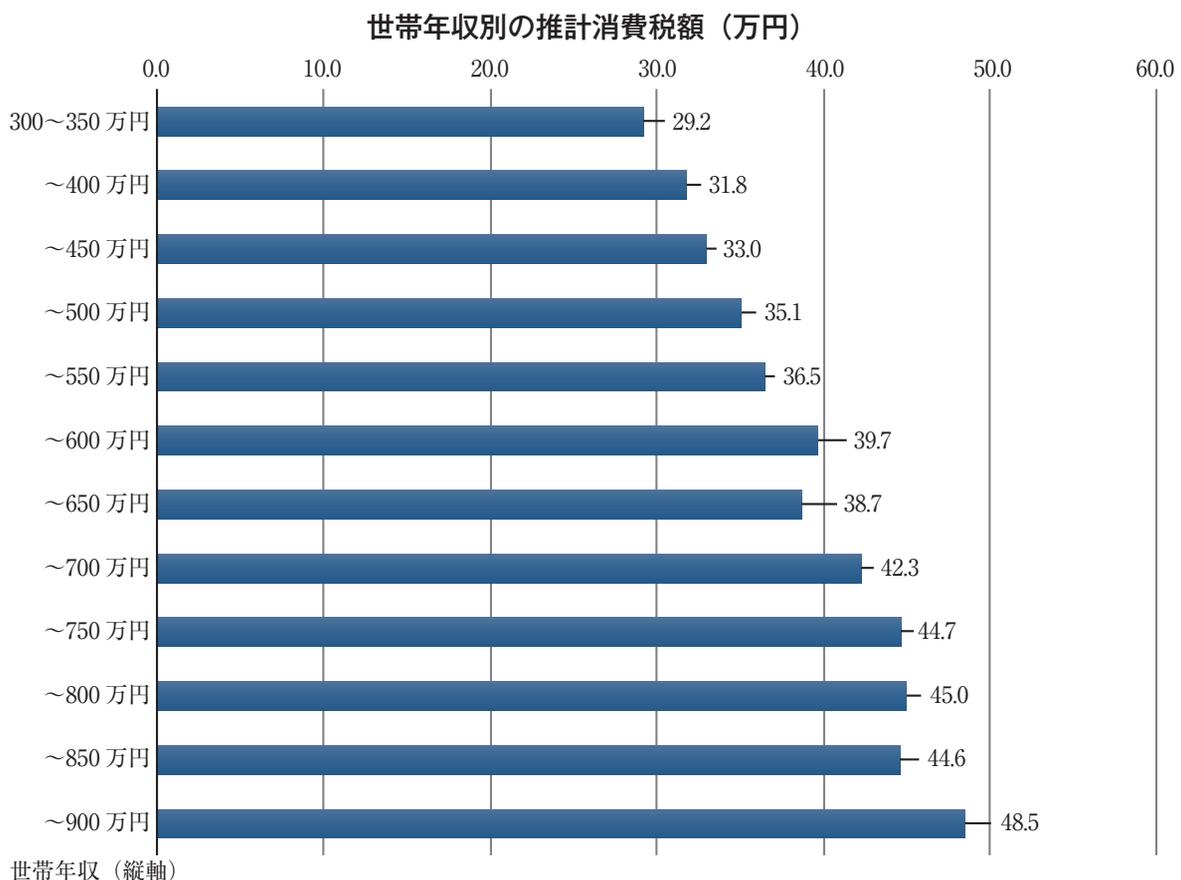
ア デンマーク国内でバターや乳製品などの価格が下がり、売り上げが増えたことによってデンマークの人たちの働き口が増えた

イ デンマーク国内でバターや乳製品などの価格が下がり、販売店の収入が減ったことによって国民の不満が高まった

ウ デンマーク国内でバターや乳製品などの価格が上がり、デンマークの人たちが安価な商品を求め、EUに加盟している隣国で買い物をするようになった

エ デンマーク国内でバターや乳製品などの価格が上がり、販売店の売れ残りが減ったことによって電気代や倉庫の使用料などの保管費用が下がった

- (4) 消費税は、原則として税率が一律であるので、所得にかかわらず、同じ買い物をした人は、同額の税金を支払うという点で公平であるといえます。一方で、別の観点からは不公平であるという指摘もあります。それは、どのような点で不公平なのか、次の資料をもとに、世帯年収と消費税負担の関係から説明しなさい。その際、① グラフ全体から読み取れることと ② そこから導き出される不公平な点に分けて解答すること。



総務省：2019年全国家計構造調査より作成

受験番号		氏名	
------	--	----	--

**1**

合計	
----	--

(1)	a	b	c	d
(2)		(3)	(4)	(5)
(6)	問1			
	問2	1928年には,		
		1984年には,		
		2014年には,		
(7)		(8)		

**1**

--

**2**

(1)		(2)		(3)		(4)
(5)						
(6)						
(7)	( )時代の初期に活躍した( )は( )宗を開いた。					
(8)		(9)				

**2**

--

**3**

(1)		%	(2)		(3)	
(4)	①	資料からは ( ) という傾向が読み取れる。				
	②	ここから、 ( ) という点で不公平といえる。				

**3**

--

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1 (1) 完答3点 / (6) 問2、3点 / 他 2点

合計	
----	--

(1)	a E	b A	c B	d D
(2)	ア	(3) なまはげ	(4) 真じゅ(玉珠)	(5) エ
問1	中央自動車道(中央道)			
(6)	1928年には、製糸工場が多く、規模の小さい工場(10~299人)が多い。			
	1984年には、精密機械で規模の大きい工場(500人以上)に変わった。			
	2014年には、電気機器など工場の種類が増え、工場の数が増えた。			
(7)	ウ	(8)	新幹線が開通したから。	

1

--

2 (5) 4点 / (7) 完答2点 / 他 2点

(1)	松尾芭蕉	(2)	縄文	(3)	イ	(4)	エ
(5)	左渡では金や銀がとれ、それから不純物を取り出す時にふいごが使われるので、ふいごに使うじょうぶな皮を手に入れたため、夕張の貝販売に力を入れた。						
(6)	戊辰戦争						
(7)	(平安)時代の初期に活躍した(空海)は(真言)宗を開いた。						
(8)	ア	(9)	ウ				

2

--

3 すべて 2点

(1)	8 %	(2)	年金	(3)	ウ
(4)	①	資料からは(消費税の年4%に占める割合は、年4%の多い人ほど低い(少ない人ほど高い))という傾向が読み取れる。			
	②	ここから、(年4%の多い人よりも少ない人のほうが税負担が重くなっている)という点で不公平といえる。			

3

--